

令和 6 年度第 1 回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 1 8 日（土） 午後 1 3 時 3 0 分 ～ 1 5 時 3 0 分	
開催場所	東部交流会館	
担当議員	班代表者	倉 克伊
	司会者	小見山 正
	報告者	山本 しのぶ
	記録者	高岡 伸行、野田えり
	班員 (上記以外)	兎本尚之、西山幸千子
参加人数	1 5 人	
主な質疑・意見等	<p>Q議：3 月議会で相楽中部消防署木津西出張所の在り方に関わり、対象地域の住民に説明会を行うよう要請するという請願項目が採択されたが、説明会は開催されるのか。</p> <p>A：議長から管理者あてに採択したことを伝えているが、説明会を開催するかどうかを決めるのは相楽中部消防組合である。</p> <p>Q議：相楽中部消防署木津西出張所の説明会が開かれるように議会から相楽中部消防組合に働きかけてほしい。</p> <p>A：採択された請願は議会としてチェックしていく。</p> <p>Q行：消防職員が足りていないのであれば、必要なところに必要な人数を増やしてほしい。</p> <p>A：消防署は、所長と 1 カ所 6 人の 2 班体制で、6 人のうち 2 人の職員が週休日で運営している。このため消防車と救急車の同時出動を実現するには 1 1 人の 2 班体制にする必要がある。今の職員数より 1 カ所あたり 1 0 人増やすことになり、消防組合の本部・出張所で最低でも 6 0 人増やさないといけない。こんなことは、なかなかできない。</p> <p>Q議：奈良交通路線バスの廃止問題について今回の議会だよりには載っていなかった。これからの高齢化社会に向けて、路線バスを含む公共交通の在り方を議会と行政でしっかり議論し、進めてほしい。</p> <p>A：若者に住んでもらえるようなまちづくり、そして高齢者の移動手段を確保するように議論する。</p> <p>Q行：(木津川新橋北側に計画の)にぎわい拠点はどうのような目的で作られるのか。</p> <p>A：災害時に車中泊できるスペースの確保、道の駅、ドライブイン、できれば宿泊できるようなところをというのが行政の構想。ただ、城陽井手木津川バイパスが完成してからのことなので 1 0 年ほど先になる。</p>	

	<p>Q行：城陽井手木津川バイパスやＪＲ奈良線複線化が完成した時に、木津駅東側は活用しやすい地域だと思うが、地元からすると見通しがいい。どう考えて進めていくのか。前市長が内水問題は解決済みだと言っていたが、そうは思わない。内水問題を解決しないと木津駅東側は活用できないと考えるが。</p> <p>A：市にとって木津駅東側は重要な土地である。下流の小川流域で、平成２５年の大雨で床上浸水があつてすぐ１６０トン／分の排水ポンプを設置したが、現在４４０トン／分まで増強する工事をしている。この整備により、木津駅東側を開発していけたらという期待はあるが、国や府と相談して進めていかなければならない。行政の説明では、市街化区域にするためには、地元の機運が高まる必要があるとのこと。</p> <p>Q議：市の財政が厳しい中、副市長２人制を導入する効果を検証することを求める請願は、当然賛成すべき内容ではないのか。</p> <p>A：検証する必要はあると思うが、まだ半年過ぎた時点であり時期尚早であると判断した。</p> <p>Q行：相楽小学校の通学路で、危険な箇所の改善を以前から求めているが一向に進まないの、議会から行政に働きかけてほしい。</p> <p>A：相楽小学校のＰＴＡが、地域要望を提出されているので、教育委員会に問い合わせる。</p>
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	<p>○相楽小学校の通学路で危険な箇所の改善を以前から求めているが一向に進まないの、議会から行政に働きかけてほしい。</p> <p>○しっかりとしたビジョンを持って木津駅東側のまちづくりを行ってほしい。</p>
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和６年 ６月２７日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和６年度第１回議会報告会

第２班 代表者 倉 克伊